

101cm 望遠鏡の観測公募要項

美星天文台

2026 年度 第 2 期の 101cm 望遠鏡による観測を公募します。観測を希望する方は、以下の要領で応募してください。

公募対象

101cm 望遠鏡操作資格取得者又はそれと同等以上の技術・知識を有していると認められた者。

公募期間と観測時間

応募が可能な週末は次のとおりです。望遠鏡及び機器の使用可能時間は 23 時～4 時です。1 週末(金土日)につき、1 グループのみの割り当てとなります。利用者の皆様は、割り当てられた 1 週末(金土日)から、天気が良い、もしくはご自身のご都合のよい観測日を 1 日選び、当日 18 時までに天文台へご連絡ください。1 週末に実施できる観測夜数は上限 1 晩となります。曇天などの日に、天文台で一晩待機した場合も、観測夜数に含めます。夕刻～23 時までは待機室でお待ちいただけます(宿泊利用の方は仮眠室も使用可能です)。

8 月 7～9 日, 8 月 14～16 日, 8 月 21～23 日, 8 月 28～30 日,

9 月 4～6 日, 9 月 11～13 日, 9 月 18～20 日, 9 月 25～27 日,

10 月 2～4 日, 10 月 9～11 日, 10 月 16～18 日, 10 月 23～25 日, 10 月 30～11 月 1 日,

11 月 6～8 日, 11 月 13～15 日, 11 月 20～22 日, 11 月 27～29 日

使用可能な焦点と装置の現状

(1) カセグレン焦点

観望用特殊接眼部が利用できます。50.8mm、31.7mm 径サイズのアイピースが使用できます。

(2) フォールデッドカセグレン焦点

a) 撮像用光学系 (フォールデッドカセグレン N 焦点)

ATIK 冷却 CCD カメラ(モノクロ)が使用できます。科学用 B, V, R, I, H α フィルターと、鑑賞画像用 B, G, R, L, H α フィルターが使用できます。科学用フィルターシステム(B, V, R, I, H α)グループと、観賞画像用フィルターシステム(B, G, R, L, H α)の交換には、装置取り外しが必要となるため、30 分程度かかります。同一グループ内でのフィルター交換は数秒で完了します。

また、ZWO ASI 6200MC 冷却 CMOS カラーカメラも使用可能です。こちらはカラーカメラのため、フィルター交換はできません。いずれもリモート観測に対応しています。

カメラ	種別	画素数	画素サイズ	視野(F/12)
ATIK 16200	モノクロ CCD	4499 x 3599	6 x 6 μ m	7.6 x 6.1 分角
ASI 6200 MC	カラー CMOS	9576 x 6388	3.8 x 3.8 μ m	10.2 x 6.8 分角

b) 分光器 (フォールデッドカセグレン S 焦点)

アンドール社の電子冷却式 CCD カメラ DU-940P-BV が使用できます。リモート観測に対応しています。

カメラ	画素数	画素サイズ	波長分解能/波長幅	
			(低分散)	(中分散)
DU940P-BV	2048 x 512	13.5 x 13.5 μ m	6 \AA / 4000 \AA	0.6 \AA / 300 \AA

(3) ナスミス焦点

フォーカルレデューサー (縮小率 1/2) 使用。T マウントの雄ネジにアダプターを取り付けて美星天文台所有の SONY α 7S III, Canon 6D MarkII の他、いろいろな種類の一眼レフカメラ(観測者持込)を取り付けることができます。また、ZWO ASI 6200MC を取り付けて撮像を行うこと

ができます。いずれもリモート観測に対応しています。

カメラ	画素数	画素サイズ	視野(F/6)
SONY α 7S III	4240 x 2832	8.4 x 8.4 μ m	20.2 x 13.5 分角
Canon 6D Mk II	6240 x 4160	5.7 x 5.7 μ m	20.2 x 13.5 分角

公募締め切り 7月3日(金) 必着

応募方法

郵送・FAX・電子メールのいずれかで送って下さい。応募書をすべての項目にもれのないように書いて下さい。観測希望日は、特別な理由がない限り、第3希望までお書きください。また、観測希望日は記入例をよくご覧の上、ご記入下さい。

応募先

郵便 〒714-1411 岡山県井原市美星町大倉 1723-70 美星天文台 公募観測係あて

FAX 0866-87-4224

電子メール koubo@bao.city.ibara.okayama.jp

問い合わせは、Tel. 0866-87-4222 まで。

突発現象

新天体など、緊急を要する観測がある時は、突発現象の観測を優先します。前もって分かっている場合は、事前に連絡します。観測時間の割り振り、その日の観測者と一緒に観測するか職員だけですか、その場合の料金などはその日の観測者と相談して決めます。

望遠鏡使用料金

1晩1人の場合5,000円。2人から20人まで1人につき1,000円を追加。21人以上は24,000円。天候・機械の調子などの原因で2時間未満の観測しかできなかった場合は料金を返却します。ただし、割り当てられた観測日は使用されたものとします。悪天候で観測をキャンセルする場合は18時までに天文台へ連絡してください。

仮眠室利用

4人1部屋の2段ベッドが4室利用可能です。1人1泊2000円。風呂・シャワーも利用できます。不明な点などがございましたら、天文台までお問い合わせください。

食事について

夕食・夜食は、各自で事前に準備願います。待機室にはポットを設置していますので自由に利用してください。

当面の日程は次のとおりです。

7月 3日(金) 観測公募締め切り(必着)

7月 17日(金)頃 プログラム委員会で観測プログラム決定、プログラム発送

8月 7日(金) 公募による観測開始

101cm 望遠鏡観測応募書記入項目

1. 応募代表者

- (1) 氏名
- (2) 登録番号 (登録番号を持たない場合は、「台長による認定希望」と明記)
- (3) 郵便番号
- (4) 連絡先住所
- (5) 電話番号
- (6) 電子メールアドレス

2. 共同観測者がいる場合その氏名 (人数分だけ列記)

3. 観測テーマ

4. 観測天体名、位置、等級、視直径 (恒星以外) 複数の場合は列記

5. 観測手段 (使用する焦点や装置、倍率とか焦点でのサイズ、露出時間なども含めて詳しく)

6. 割り当てられた観測期間内の観測スケジュール

(例えば、どの天体をどの順番でどのように観測するかなど)

7. 月の条件

- ・暗夜でなければならない (その理由 _____)
- ・前半夜は月があっても可 ・後半夜は月があっても可 ・満月でも可

8. 観測希望週末

第一希望:

第二希望:

第三希望:

1 週末(金土日)を最小単位としてご指定下さい。第一希望のみ、あるいは第一、第二希望しかないときは、その週末でなければならない理由を書いてください。

(記入例)

第一希望: 9月18~20日 ← 18日、19日、20日の夜のいずれかの意味

第二希望: 10月9~11日 ← 観測者の都合で9日が不可の場合でも応募は左記の通り

第三希望: なし (勤務の都合で第一、第二希望週以外は不可)

9. 仮眠室利用の有無・人数

現時点での希望をご記入ください。仮眠室を利用しない場合はなしとご記入ください。仮眠室を使用する場合は、必ず観測日の1週間前までに正確な人数を天文台までご連絡ください。

10. 2夜連続での観測希望(学生による観測実習に限る、審査あり)

学生による観測実習により、連続する2日間での使用を希望する場合は、希望ありとご記入ください。なお、プログラム委員での審査の結果、ご希望に添えない場合もあります。

11. 観測を達成した場合の発表の予定 (いつ・どこで・どのように)

美星天文台 101cm 望遠鏡使用規定

ーデータの使用についてー

美星天文台で得られた写真・映像・画像を含むすべてのデータは、観測者(望遠鏡使用者)と美星天文台が教育・普及・広報・研究活動などに活用するために、観測者と美星天文台の両者が著作権を所有するものとします。これが、天文台利用の前提条件です。以下、観測者と美星天文台の双方を合わせて著作権者と呼ぶことにします。

101cm望遠鏡を使用して得られたデータを公表する場合は、美星天文台で得られたデータであることを明記してください。また、公表するものと同じ質の物を美星天文台にもお送りください(論文等印刷物の場合は別刷またはコピー、ビデオ・デジタルデータの場合は同種の媒体にコピーしたものなど)。天文台で教育・普及・広報活動に有効に利用したいためです。天文台が利用する場合、観測者の名前を明示します。また、美星天文台年報に、活動の報告として掲載します。インターネットのウェブページやSNSで公表する場合は、掲載ページのURL等をお知らせください。ただし、表示形式が定まっていて観測地・望遠鏡名が記入できない場合は、観測者本人の名前だけで構いません。ウェブページなどのネットワーク上でデータを公表・公開する場合も、美星天文台で撮影したことがわかるようにしてください。例えば、FITS形式のデータを公開する場合はヘッダに観測地の情報を含めてください。JPEGなどの画像をウェブページで公開する場合は、同じページ内の適当な場所に観測地の表示を入れ、また画像に観測者、美星天文台、画像作成者の著作権があることをどこかに明記してください。具体的には美星天文台にお問い合わせください。

ネットワークで公開されたデータをさらに第三者が利用する場合も、その人がどこかに公表する場合は前述と同様の条件が適用されるように記述してください。これらの条件が満たされれば、教育・普及・研究目的のデータの第三者による利用は、美星天文台の許可を必要としないものとします。

印刷物等で、表記するスペースがあるにもかかわらず著作権者を明記することができない場合や著作権が著作権者(観測者と美星天文台)の手を離れてしまう場合などは、公表できません。例えば、天文雑誌の投稿天体写真コーナーで採用になった写真がその出版社の出版物に撮影者・撮影地の明示無しに転用されることが予想される場合には応募できないことになります。なお、雑誌等に掲載された場合の謝礼は観測者のみが受け取り、天文台に払う必要はありません。また、実際に転載の問い合わせがあった場合は、美星天文台としては、撮影者の承諾があり、かつ撮影地として美星天文台と明記される限りにおいては、原則として転載を承諾する方針です。

商用目的でデータを利用する場合は、美星天文台の許可を必要とします。